

# 礼文の森から

宗谷森林管理署  
礼文森林事務所

## 今年もよろしく申し上げます

皆さま、良い年を迎えられたでしょうか？

礼文島は例年に比べ雪が少なく、雪かきの回数が少なくなっています。しかし、積雪が少ないとスキーで山を踏査することが困難となるのでちょっぴりジレンマに陥っています。

今年も、礼文島国有林の森林保全、自然再生の任務に邁進しますので、よろしく申し上げます。



冬の桃岩

## 森林官の仕事～境界巡検～

例年、礼文森林事務所では「境界巡検」を行っています。境界巡検では、国有林と民地の境界（けいかい）にある、コンクリートなどで作られた「境界標」を探す作業です。この境界標が、国民の財産である国有林と民地の境を決める大事な目印になります。

境界標が正しい位置にあるか、倒れていないかを確認し、目立つように赤ペンキを塗りつけたり、場所がわかるようにポールや周辺の木に目印をつけます。

境界巡視は住宅地周辺で実施することもあるので、来年もお邪魔する際はよろしく申し上げます。



赤く塗った境界標

## 礼文島の海ガモ達



事務所から窓を眺めると、たくさんのカモたちが礼文島の海を泳いでいます。

特によく見かけるのがシノリガモという、おしろいのような模様が可愛いカモたちです。彼らは冬鳥として礼文ではたくさん見かけますが、京都府では準絶滅危惧種指定されており、地域によっては珍しいカモのようです。前任地の道東で見かけたカモ（オナガガモ、スズガモ等）とはまったく違う種類が観察でき、礼文島に赴任して新たな楽しみを発見できたと思った今日この頃でした。



シノリガモ